

飲水思源

町長 松岡市郎

東京登山(?)

よく東京に行く機会があるが、登山ができる山などあるのだろうか。モノレールに乗ると富士山を見ることができ、都内は一面高層のビル群で、自然の姿、山を見たという記憶を思い出せない。関東平野であつてもどこかに丘や山は存在しているのだろうか、と思ふが…。

職場の先輩と一緒に東京を訪問した時の思い出話である。東京へ来ると『東京登山』、いやそれ以上だということか? 「だって、上りあり、下りあり、平地ありで、歩く」からである。歩く距離はどのくらいか測ったことはないが、8千歩から1万歩程度であるから、おおむね4〜5キロメートル程度。電車を待ち、乗り継ぎ、訪問場所を変えながら歩くのであるが、平坦道を単純に歩くのとは訳が違う。地下鉄への階段の昇降もあり、荷物などを持っている、なかなか一気に駆け上がることは不可能に近い。

ると。とはいふものの、下車してすぐに乗り継ぎ電車に乗れるかと思いきや、何となく、数百メートルも歩かないと乗り継ぎできないような駅もある。農村に暮らすわれわれから見ると、実に大変である。高齢者にやさしい所など評価する者は決していないだろう。自らの「健脚」がなければ用事を足せない。でも東京がいいのだという。東京の魅力は何か。「住めば都、『東京都』とはこのことか。なるほど…」と感心する。

さてわが旭岳への登山はどうか。ロープウェー姿見の駅からスタートして、歩くこと2時間程度で頂上である。歩く距離は2・5キロメートル程度。先輩は、東京での2時間の歩きを『東京登山』と表現したが、農村住民にとつての上京は、旭岳登山に等しい感じになるようだ。

東京の高齢者の皆さんは、一体どこで、どのような暮らしをされているのか。電車の中や歩行中はあまり高齢者を見かけないが、ひとり農村暮らしが最適と思ひながら歩く自分がある。東京登山を思い出し、加齢のせいであらうか、急に東京へ行く時は登山覚悟が必要だと思ふようになった。

とり年のゆる文字年賀状(一般書)

宇田川一美/著 誠文堂新光社/刊



筆ペンを使う「ゆる文字」、年賀状と、来年の干支・酉(とり)のイラストの描き方を紹介しています。基本の書き方は豊富な写真で分かりやすく、墨筆ペン一本で描けるものから、場面に応じて色筆ペン、水彩絵の具、色鉛筆などを使ってかわいくカラフルに描くものなどを展開します。味わいあるイラストや文字のテクニックで素敵な新年のご挨拶を。

アオハライド(DVD)

東宝



男子が苦手な主人公の双葉。中学生時代、唯一普通に接することができたのは「田中くん」だった。しかし夏休み中に田中くんは転校してしまい、自分の気持ちを伝えることができなかった。双葉は、男子にモテるといふ理由で女子から仲間はずれにされ、辛い中学生時代を過ごした。高校では女子から嫌われないように、わざとがさつに振舞う。そこへ中学時代と人が変わったようになった田中くんが転入してきて…。(122分)

貸し出し図書 ビデオ紹介

文化交流館
☎82-4245



★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています★
1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間

貸し出し検索

<http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>

ざんねないきもの事典(児童書)

今泉忠明/監修 高橋書店/刊



地球にはすごい能力をもつ生き物がたくさんいます。でも一方で、思わず「どうしてそうなった!？」と突っ込みたくなる「ざんねん、な生き物も存在するのです。進化の結果、なぜかちょっとざんねんな感じになってしまった122種の生き物をご紹介します。「クジャクの羽は長すぎてじゃま」「サイの角はただのいぼ」「イルカは眠るとおぼれる」など。